

レース名	斤量	クラス	コース	距離	馬場	レース質	荒れ度	自信度
ダイヤモンドステークス	ハンデ	GIII	東京	芝3400m	良想定	瞬発	中荒れ	C or D

枠番	名前	騎手	父	父系統	母父	母父系統	斤量	能力	コース	馬場	血統	展開	総合	人気	印	結果
1	ナムラドノヴァン	内田博	ディープリランテ	ディーブインバクト	Kingmambo	キングマンボ	53	C	A	C	C	B	B	4	○	
2	ダノンテイオー	津村	ディーブインバクト	ディーブインバクト	Dr Fong	ロベルト	53	E	E	E	C	E	E	16	消	
3	オーソリティ	川田	オルフェーヴル	ステイゴールド	シンボリクリスエス	ロベルト	56	B	C	B	B	B	B	1	☆	
4	ヒュミドール	吉田豊	オルフェーヴル	ステイゴールド	チチカステナンゴ	グレイソヴリン	55	B	B	B	B	A	A	7	◎	
5	サトノガーネット	岩田望	ディーブインバクト	ディーブインバクト	Victory Note	ノーザンダンサー	55	D	D	D	C	D	D	12	消	
6	ブラックマジック	石橋脩	ディーブインバクト	ディーブインバクト	Sholokhov	サドラーズウエルズ	54	C	C	B	C	C	C	8	△3	
7	ミスマンマミーア	松若	タニノギムレット	ロベルト	サンデーサイレンス	サンデーサイレンス	53	C	D	D	B	D	D	10	消	
8	ジャコマル	田中勝	ダノンシャンティ	フジキセキ	トニービン	トニービン	54	C	C	C	C	C	C	11	△5	
9	メイショウテンゲン	横山典	ディーブインバクト	ディーブインバクト	フレンチデビュティ	ガイストジェント	56	D	D	D	C	E	E	13	消	
10	グロンディオーズ	三浦	ルーラーシップ	キングマンボ	サンデーサイレンス	サンデーサイレンス	54	C	B	B	B	B	B	5	▲	
11	ボスジラ	横山武	ディーブインバクト	ディーブインバクト	Mr. Greeley	ミスターブス	56	C	D	C	C	C	D	9	消	
12	ワセダインプルー	大野	ハービンジャー	デインヒル	アグネスタキオン	サンデーサイレンス	54	D	C	D	C	D	D	14	消	
13	ボンデザール	ルメール	ハーツクライ	サンデーサイレンス	Rossini	ミスターブス	54	C	D	D	A	B	C	2	△4	
14	タイセイトレイル	北村宏	ハーツクライ	サンデーサイレンス	シンボリクリスエス	ロベルト	55	C	B	B	A	C	C	6	△1	
15	パフォーマブロミス	Mデムーロ	ステイゴールド	ステイゴールド	タニノギムレット	ロベルト	57.5	C	B	C	A	B	C	3	△2	
16	アイスパブル	武藤	ディーブインバクト	ディーブインバクト	キングカメハメハ	キングマンボ	55	C	D	B	C	D	D	15	消	

※評価はこのレース中の相対評価になります

PREVIEW
東京競馬場の芝コースの中でも最長距離で行われるダイヤモンドステークス。一見すると豊富なスタミナだけが問われるレースに見えるが、この重賞はそこまでスタミナー辺倒のレースではない。過去5年のレース結果を見ても、2017年と2019年は勝ち馬の上がり時計が33.4という速さ。同じ東京の長丁場の重賞のアルゼンチン共和国杯や目黒記念と比べてもレース上がりが速くなる傾向にあり、ただスタミナがあるだけの馬ではダイヤモンドステークスで好走することはできない。
だいたい年では前半から中盤部分がかなり緩むので、極端にスタミナを消費するような展開にはならない。最初の2800mをキャンターのような遅いペースで周回し、残り600m程度でようやくペースが上がって直線部分で決め手が使える馬が走りやすいレースと言える。この事からも、あんまりスタミナに偏りすぎている馬を買ってもダメなレースだろう。
※昨年に關してはレース傾向とは真逆で、中盤ペースが非常に速くなったことで最後は上がりがかかり放題の消耗戦に。レース上がりが38.1もかかるような展開になることはまずないと見て良さそうで、基本的にはレース上がりは35秒前後で収まる。
今年の出走メンバーを見ても、溜めて脚を伸ばして良さが出るタイプの馬ばかりですし、ほぼ間違いなくスローペースになると見て良さそう。最初の2800mの周回部分でしっかりと折り合えて脚を溜めることができて、なおかつ最後に東京競馬場の長い直線でブンと伸びてこられるような馬を狙うのがいいと思います。
本命はまだ強いとバレきっていない◎ ヒュミドール が面白そうだ。ずっとダートを使われていた馬だが、芝に戻してからのパフォーマンスが素晴らしいもの。2勝クラス勝ちでは福島芝2600mでスタミナを見せていますし、3勝クラス勝ちでは合うとも思わなかった芝1800mの瞬発戦で勝利。厩舎や血統が地味なので話題になっていないが、この馬はかなり強いんじゃないだろうか？今回の条件への適性も合うと思います。
REVIEW

※文字色の意味2021/2/20

赤…GOOD妙味大な馬 青…BAD危険な馬

紫…DARKHORSE穴馬

コース特徴
直線の長い東京競馬場をグルグルと回るレース。基本的にペースは上がりにくい。
馬場レベル&バイアス
B=やや高速
血統傾向
スタミナと瞬発力を兼ね備えている血統の好走が目立つ。ハーツクライ産駒やステイゴールド産駒の好走が目立っている。
展開
先行馬が少なくスローペース濃厚。前半から中盤がゆったり進んでの決め手勝負になるんじゃないだろうか。
データなど特記事項
○1番人気 (6-1-0-3) ○2番人気 (1-2-3-4) ○4歳 (3-3-4-11)14.3% 28.6% 47.6% ×7歳以上で前走10着以下 (0-0-0-28) △関西馬で当日7番人気以下 (0-0-1-41) △ハンデ56kg以上で当日6番人気以下 (0-0-1-20) △前走重賞だった馬で当日5番人気以下 (0-0-2-44)
危険な馬
ボンデザール=戦績を見ても明らかに夏の北海道だけ好走している感じの馬。ハーツクライ産駒でサトノクラウンの半妹という血統背景だけに決め手勝負には弱いんだろ。ステイヤーズSは超スローペースを途中で動いたルメール騎手の判断が全て。東京コースの決め手比べはいかにも合わない感じ。
妙味大な馬
ナムラドノヴァン=今年の万葉Sは格上挑戦での勝利でしたが、もともと素質は評価していた馬で、かなり早めのタイミングから終始外を突って突き抜けたパフォーマンスは普通に優秀だったか、ある程度長めの距離で相対的な瞬発力の高さと末脚の持続力を活かして良さそうなタイプ。
穴馬
ヒュミドール=ずっとダートを使われていた馬だが、芝に戻してからのパフォーマンスが素晴らしいもの。2勝クラス勝ちでは福島芝2600mでスタミナを見せていますし、3勝クラス勝ちでは合うとも思わなかった芝1800mの瞬発戦で勝利。厩舎や血統が地味なので話題になっていないがこの馬はかなり強い。
想定時計
超長距離戦なので想定不能
想定ラップタイム
超長距離戦なので想定不能

Copyright (C) 2014 - KAZ
AllRightsReserved.
本資料の一部または全部を、許可なく再配布することを禁じます。

枠番	名前	騎手	印	総合評価	想定人気	PREVIEW	結果	REVIEW
1	ナムラドノヴァン	内田博	○	B	4	今年の万葉Sは格上挑戦での勝利でしたが、もともと素質は評価していた馬で、かなり早めのタイミングから終始外を通過て突き抜けたパフォーマンスは普通に優秀だったか。ある程度長めの距離で相対的な瞬発力の高さと末脚の持続力を活かして良さそうなタイプ。いかにも今回の条件は合いそうですし、上位評価でいいんじゃないだろうか。	0	
2	ダノンティオー	津村	消	E	16	ダートでも完全に頭打ちの戦績。どこも使うところがないからここを使ってきたとしか思えない。	0	
3	オーソリティ	川田	★	B	1	戦績を見ても明かなサウスポー。青葉賞やアルゼンチン共和国杯の内容を見ても左回りなら重賞でも当然通用するはずで、ここならば能力上位と見ていいか。ここ2戦はセンス良い競馬ができていますが、もともと気性の激しい血統ですし、この長距離で信頼とまでは行きづらい。	0	
	ヒュミドール	吉田豊	◎	A	7	ずっとダートを使われていた馬だが、芝に戻してからのパフォーマンスが素晴らしいもの。2勝クラス勝ちでは福島芝2600mでスタミナを見せていますし、3勝クラス勝ちでは合うとも思わなかった芝1800mの瞬発戦で勝利。厩舎や血統が地味なので話題になっていないが、この馬はかなり強いんじゃないだろうか？今回の条件への適性も合うと思います。	0	
5	サトノガーネット	岩田望	消	D	12	前走の愛知杯は馬場も展開も騎乗も完璧にハマりながら掲示板が精一杯。今までのこの馬なら突き抜けていておかしくなかったはずで、もう年齢を考えても前走で衰えたと考えるのが妥当だろう。今回が引退レースになります。	0	
6	ブラックマジック	石橋脩	△3	C	8	ディープインパクト産駒ではあるがキレない持続力型で、先行力と立ち回りセンスを活かして勝ち上がってきた。ほとんどのレースが展開に恵まれているので能力の底がわからないが、こういう重賞初挑戦のディープ産駒はわりと走ってくるので抑えておいた方がいいか。	0	
7	ミスマンマミーア	松若	消	D	10	前走の日経新春杯では驚きの末脚を見せたが、低レベル戦で上位人気馬が軒並み自滅したようなレースを最後方から大外ぶん回しでいかにもハマったような感じ。今回の条件でスローではキレ負けしそうですし、牝馬が3400m戦に対応できるかはちょっと疑問。	0	
8	ジャコマル	田中勝	△5	C	11	展開に恵まれて準オープン勝ち上がった馬と見ていたが、前走のAJCCは骨っぽい相手に積極的な競馬から見せ場十分の内容。オープンぐらいではやれて良さそうだが、これまた変な条件に使ってきたなどというのが正直なところ。抑え印が精一杯か。	0	
9	メイショウテンゲン	横山典	消	E	13	血統イメージに比べてさっぱりキレない馬で、馬場が悪化して上がりがかかった時だけ好走できる馬。本来ならばこの条件は全く合わないはずで、昨年は例外的にペース流れての消耗戦になったことで差し込んでこれたか。昨年シーズン後半は適性云々ではなく調子落ちた印象でしたし、ここで走れるとは思えません。	0	
10	グロンディオーズ	三浦	▲	B	5	いかにもなゆったりと走らせてこそそのルーラーシップ産駒。前走は距離不足な上に超スローペースで完全に脚を余していた印象。ここまで距離を伸ばしてどうかはわからないが、少なくとも前走よりは良いんじゃないだろうか。ある程度の位置を取ってじっくりと脚を溜めたいところだ。	0	
11	ボスジラ	横山武	消	D	9	一連のレースぶりを見てもキレないが持続力はある馬で、北海道の芝2600mのレースがあれば重賞でも通用して良さそうな感じ。阪神大賞典やステイヤーズSでは最後に伸び負けていますし、本質的には長距離適性に欠けるような感じがします。	0	
12	ワセダインプルー	大野	消	D	14	福島記念では最後に差し込んできて驚いたが、その福島記念は上位馬含めてほぼ全頭がそれ以降で全く活躍できていない低レベル戦。日経新春杯では条件や展開に恵まれた感じでも伸びあぐねましたし、今回の条件で変わりそうな感じもしない。	0	
13	ボンデザール	ルメール	△4	C	2	戦績を見ても明らかに夏の北海道だけ好走している感じの馬。ハーツクライ産駒でサトノクラウンの半妹という血統背景だけに決め手勝負には弱いだろう。ステイヤーズSは超スローペースを途中で動いたルメール騎手の判断が全て。このレースに相性の良いハーツクライ産駒ですが、東京コースの決め手比べはいかにも合わない感じがします。	0	
14	タイセイトレイル	北村宏	△1	C	6	昨年は中谷騎手が全く御せずで度外視可能。いかにもこの条件は合いそうだと思うが、近3走は条件も騎乗も完璧な割にパフォーマンスがイマイチ。もう前走に関してはこれ以上ないぐらいに完璧に乗られているので、果たしてあれよりも上の走りができるんだろうか。	0	
15	パフォーマプロミス	Mデムーロ	△2	C	3	長距離条件での相対的な決め手比べは合いそうですし、鳴尾記念は超低レベル戦を完璧に立ち回ったとしても、京都大賞典ぐらい走れば今回のメンバーならやれそう。ただ、さすがに明け9歳の休み明けはリスクが高そうで、なおかつ鞍上がデムーロとなると重い印は打てなかった。	0	
16	アイスバブル	武藤	消	D	15	ディープインパクト産駒ながらクロフネの近親という血統背景で持続力を活かしてこそその馬。ダイヤモンドSは距離こそ長いが決め手が問われるレースで、この馬は最後の決め手比べでキレ負けしそう。万葉Sでのレースぶりを見てもあんまり長い距離が合いそうなイメージがありません。	0	